

ドナルドのダンス大好き

原題：Mr. Duck Steps Out

公開：1940/6/7

旧題：ドナルドのダンス狂

ドナルドダック・シリーズ：No.20

ストーリー

ガールフレンドの**デイジーダック**の家に遊びに行く**ドナルドダック**。しかし、甥の**ヒューイ**、**デュイー**、**ルーイ**がついてきてしまう。2人きりのデートを邪魔されたくないドナルドは3人を家に閉じ込める。

デイジーの家に着くと、脱出した3人が先回りしていた。デイジーには甥っ子を連れて来た、とその場しのぎで言い好感度を上げる。しかし、アイスクリームで3人を釣り、そこから追い出す。

いざダンスが始まると、3人が帰ってきてしまった。ダンスを踊りたい3人に妨害されながらも、ダンスを続けるドナルド。しまいには、3人が仕掛けたポップコーンや、雑貨の演奏でてんやわんやの大騒ぎに。ダンスが終わるとデイジーはドナルドのダンスに惚れ惚れする。

概要

デイジーダックが初めて**ドナルドダック・シリーズ**に出演した作品。

このエピソードが、デイジーと**ヒューイ**、**デュイー**、**ルーイ**の初対面である。

デイジーダックの声を**クラレンス・ナッシュ**が演じている唯一の作品である。（**ドンナダック*** 名義の「**ドナルドのメキシカン・ドライブ**」（1939年）ではナッシュが演じていた）。つまり、デイジーが**ドナルドダック**同様、ガーガー声でしゃべっている貴重な作品で、次作「**ドナルドの罪の償い**」（1945年）からは、普通の女性の声でしゃべるようになった。この変更により、「**ドナルドのそっくりさん***」（1946年）、「**ミッキー、ドナルド、ゲーフィーの三銃士**」（2004年）でデイジーがドナルドのガーガー声をバカにしたり、批判するシーンの筋が通ることとなった。

キャスト

ドナルドダック クラレンス・ナッシュ

デイジーダック

ヒューイ

デュイー

ルーイ